

写









議員提出議案第 8 号

土地改良事業予算の確保を求める意見書

上記議案を別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

平成22年12月9日

古河市議会議長 堀 江 久 男 殿

|     |             |         |   |
|-----|-------------|---------|---|
| 提出者 | 議会運営委員会委員長  | 針 谷 力   |  |
| 賛成者 | 議会運営委員会副委員長 | 関 口 哲 男 |  |
|     | 議会運営委員会委員   | 舘 野 洋 二 |  |
|     | 〃           | 長 浜 音 一 |  |
|     | 〃           | 赤 坂 育 男 |  |
|     | 〃           | 石 丸 一 男 |  |
|     | 〃           | 宇都木 信太郎 |  |
|     | 〃           | 山 腰 進   |  |



土地改良事業予算の確保を求める意見書 (案)

12/9 採択

効率的で生産性の高い水田農業の基盤づくりや、競争力のある産地育成のための畑地の基盤づくりなど、古河市における土地改良事業は、市内農業基盤の構築に多大な役割を果たしてきた。また、土地改良事業を推進することにより、意欲的な農業の担い手が次々と育成されてきた。

こうした土地改良事業は、長年かかって築き上げた地元農家や集落の協力体制・自治体制によって進められるものであり、国土の保全や水源の涵養など多面的機能の発揮と相まって、住みよい農村地域を構築していく上で大変重要な事業となっている。

しかしながら国は、平成22年度予算において土地改良事業予算を前年度比63.1%減と大幅に削減させた。こうした状況から、古河市においては、農業の現場で大きな混乱と不安が広まっており、土地改良事業の行く末如何によっては、耕作放棄地の増大や農業用施設の荒廃などが更に進むのではないかと、大変危惧している。

このため、国会並びに政府においては、古河市の実情を踏まえ、現在進められている土地改良事業や今後新たに取り組むべき土地改良事業が計画どおりに実施できるよう、土地改良事業予算を復元することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月9日

茨城県古河市議会議長 堀江久男

|        |       |   |   |
|--------|-------|---|---|
| 衆議院議長  | 横路孝弘殿 | } | 宛 |
| 参議院議長  | 西岡武夫殿 |   |   |
| 内閣総理大臣 | 菅直人殿  |   |   |
| 総務大臣   | 片山善博殿 |   |   |
| 財務大臣   | 野田佳彦殿 |   |   |
| 農林水産大臣 | 鹿野道彦殿 |   |   |